

大正大学コラム

豊島区環境清掃部は、平成22年度より大正大学社会共生学部と協定を締結し、連携事業を行ってきました。今回は事業の一環として実施したインターンシップにおいて、同大学社会共生学部の学生の皆さんに「エコのわ」33号のテーマである「水資源を大切に」することについてコラムを作成していただきました。

知っていると得する!?

家庭でできる節水の取り組み

Q.洗濯する時のオススメの節水方法は?

A.洗濯時には風呂の残り湯を使う

洗濯時に風呂の残り湯を使うことで、水の再利用にも繋がり節水に効果的です。残り湯の雑菌やニオイ対策として、入浴後すぐ洗濯に使用し、「洗い」にのみ残り湯、「すすぎ」は水道水を使用しましょう。

Q.お風呂を使う時のオススメの節水方法は?

A.シャワーヘッドを節水式に変える

節水シャワーヘッドは、水が出る一つひとつの穴を小さくすることで、水の使用量削減につながります。快適さはそのまま、普段通り使うだけで節水もCO₂削減も叶える節水型シャワーヘッドをフル活用してみましょう。



Q.植物への水やり時のオススメ節水方法は?

A.雨水をバケツや雨水タンクにためておき、花壇の水やりで再利用する

バケツや雨水タンクにたまった雨水を花壇の水やり時に再利用することができます。雨水をためておくことで、非常時にも生活用水として活用できるのでオススメです♪



実は... やってはいけない節水方法

Q.間違った節水方法は?

A.トイレタンクにペットボトルなどの重たいものを沈めておく

「注意」水の使用量を減らすことはできますが、詰まりや故障の原因にもつながります。トイレで節水したい時は、大小のレバーを使い分ける意識が大切です。

23区初!

トピックス

サントリーグループと環境包括連携協定を締結しました!



令和5年11月6日、豊島区は、サントリーホールディングス株式会社及びサントリー食品インターナショナル株式会社の両社と、23区で初めて環境包括連携協定を締結し、あわせて、「豊島区環境アクション宣言」を実施しました。今後、区民や事業者の皆様とともに、環境を自分事として捉え、環境課題を

解決していくためには、企業等多様な主体と連携していく仕組が不可欠です。区の環境政策に賛同し、区の政策を後押しする強固な理念をもつ企業と連携し、企業のネットワーク、人材、発信力等を活かしながら環境面における地域課題を解決していきます。

豊島区環境アクション宣言

豊島区

「豊島区は、地球にも人にも未来にも優しいゼロカーボンなまちの実現に向けて、サントリーグループと連携・協力していきます」

サントリーグループ

「サントリーグループは、誰もが豊かに暮らすことのできる地球環境を未来に引き継ぐために、豊島区と連携・協力していきます」

デコ活について

豊島区は令和5年8月29日にデコ活宣言をしました。区民や事業者の皆さんと一緒に日々の行動を地球環境にやさしい行動に変えていきます!



◆ ご意見・ご感想・エコ情報をお待ちしております ◆



アンケートはこちら

豊島区ホームページよりアンケートにご協力お願いいたします。

「エコのわ アンケート」で検索

左記2次元コードからご回答いただけます。(アンケート受付期間 令和6年9月まで)



バックナンバーはこちら

「エコのわ」第33号 令和6年3月1日発行

発行：豊島区環境清掃部環境政策課 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
電話：03-3981-2771 (直通) FAX:03-3980-5134
メール：A0029180@city.toshima.lg.jp
掲載されている記事・写真・イラスト等の無断転載・複製を禁じます。



第33号は「みどり東京・油断防止プロジェクト」の助成事業です。

